資料4

議題４　公用車管理の民間委託について（刈谷市提出）

市名	回答		
	（１）公用車管理の民間委託を検討した実績	（「有」の場合） 検討のきっかけや検討内容 （メリット・デメリットなど）	（２）その他、今後の方向性や課題
名古屋市	各局室での管理となるため、具体的な回答があった局のみ掲載。 【教育委員会】有 【上下水道局】有 【財政局】無 【緑政土木局】無	【教育委員会A課】リース契約に切り替える前は、車検、修理、保険等の事務を職員が直接行っていたが、リース契約に切り替える際に、リース契約に含めて契約することで、関係事務の一切をリース会社で実施することで事務軽減となっている。 【教育委員会B課】自動車図書館車４台について、うち２台は運行委託とともに車検等を含めて管理委託をしている。その他の２台は「メンテナンスマネジメントサービス」に加入し、管理を委託している。 【上下水道局】上下水道局では車両を500台近く管理しており、直営ではすべての車両を把握するのが難しいため車検等の点検整備を民間に委託している。	【教育委員会A課】各種管理事務を含むリース契約を継続する予定 【教育委員会B課】令和6年5月から「メンテナンスマネジメントサービス」に加入したが、法定点検、パンク修理やバッテリー交換、冬用タイヤ交換などが専門事業者による一括管理となったことで、職員の負担軽減や費用の平準化が可能になり、メリットを感じている。 【上下水道局】 【財政局】公用車の購入からリースに順次切り替えていくことで、車検の更新等について職員の負担軽減を図っている。 【緑政土木局】今後も車検のスケジュール管理等については、本市職員で実施し、実際の受検や整備については民間業者へ委託していく予定。緑政土木局においては、各車両の車検期限等を管理する台帳として、Microsoft Accessを使用している。
豊橋市	無		貴市と同様の課題があるが、マニュアル等を整備し職員で対応している。
岡崎市	無		特になし
一宮市	有	車両管理における業務負担軽減のため。	過去に公用車のリース化について検討を行ったが、現状導入には至っていない。 当市本庁舎の公用車（主に共用車）は機械式立体駐車場に駐車されており、委託をする場合は駐車場管理を含めた契約にしていく必要がある。
瀬戸市	無		
半田市	有	【検討のきっかけ】車検期限の適正管理 【検討内容】 メリット：適正配車、車検・免許証の有効期限管理、運転日誌・アルコールチェックの電子記録 デメリット：導入費用が高い	現在の車両台数の管理に要する負担と一元管理システムの導入に係る費用負担を比較したうえで、現時点での導入は考えていない。
春日井市	無		委託内容について共有してほしい。（運転毎の傷の有無の確認・鍵の貸出等どの程度のことを委託する予定なのか。）
豊川市	無		公用車管理におけるノウハウの蓄積、引継ぎは提案市と同様に本市も課題と考えている。
津島市	無		
碧南市	無		
刈谷市	無		現在のところ導入の予定は無いが、継続して調査検討したい。
豊田市	無		豊田市では民間委託の検討はありません。
安城市	無		民間委託について検討したことはございません。
西尾市	無		100台以上の車両は主担当一人では管理が困難であるため、車両を各課専用車（約250台）と共用車（約70台）に仕分けして主に共用車のみを管理している。各課専用車の管理は原則所管課に任せている。民間委託は全国市有物件災害共済会とのやりとりが難しいと予想されるので今のところ検討していない。

議題４　公用車管理の民間委託について（刈谷市提出）

市名	回答		
	（１）公用車管理の民間委託を検討した実績	（「有」の場合） 検討のきっかけや検討内容 （メリット・デメリットなど）	（２）その他、今後の方向性や課題
蒲　郡　市	有	平成18年度から公用車車両管理委託業務を実施。 [メリット] ・職員の車両管理の事務の減少 ・専門知識のある業者に委託することによる業務の標準化 ・メンテナンス工場、管理委託業者、市の３者の確認によるリスクの回避 [デメリット] ・管理委託費	市全体の業務のアウトソーシング化を進める中で、引き続きメンテナンス委託を継続していきたいと考えています。 ただ、ここ最近では入札を行っているものの一者の入札しかないため、業務内容を見直し、競争が働くようにできればよいかと考えています。
犬　山　市	有	メリット 事務の簡素化（人件費の削減）、公用車管理の簡素化 デメリット 市内事業者への新車購入・車検・点検等の発注の減少 リースから所有への後戻りがしにくい	過去公用車の民間委託（リース）について、議案を提出したが否決。理由は、市内事業者へ新車購入・車検点検等を発注しており、事業者への影響が大きいことが挙げられた。 これまでの経緯もあり現在は、民間委託（リース）を検討していない。
常　滑　市	無		
江　南　市	無		今後も市で管理予定
小　牧　市	有	きっかけ：公用車台数の削減を図る メリット：職員の車検管理等の負担が減る。 デメリット：市内業者を選定してもらえるか不透明	民間委託をするとコストメリットがあるかが課題である。
稲　沢　市	有	稼働率の最適化を目的とした車両管理が出来ていなかったことと運転日誌運用の再整備を行うために民間委託を検討した。	潜在的不稼働車両の見える化という課題を解決すべく、時期を見ながら民間委託を検討していく予定である。
新　城　市	無		現在のところ、検討を進める予定なし。
東　海　市	無		特にありません。
大　府　市	無		
知　多　市	無		
知　立　市	無		人事異動に伴う点検漏れに対する懸念の他、公用車保有台数の適正化、運転者の酒気帯びの有無の確認漏れの対策等について課題として挙げられます。
尾張旭市	無		今後も民間委託の予定はありません。
高　浜　市	無		今後、民間委託を行う予定はありません。
岩　倉　市	無		現在の時点では公用車の民間委託は検討していない。
豊　明　市	有	公用車全てのリース契約を検討したが、費用が大幅に上昇したため、実現には至らなかった。	ほぼ全ての公用車55台をまとめて車検や法定点検の業務を年間委託で発注しているが、履行できる業者に限りがあるためか、指名競争入札を実施しても辞退する業者が複数出てしまうのが課題である。
日　進　市	有	車検、12か月点検、6か月点検を年度当初に一括で業務委託（入札）	
田　原　市	無		
愛　西　市	無		公用車配置計画に基づき、各課で管理を行っているが、今後は全体の共有化を含めた検討をしていく必要があると考える。
清　須　市	無		民間委託の予定は今のところありません。

議題４　公用車管理の民間委託について（刈谷市提出）

市名	回答		
	（１）公用車管理の民間委託を検討した実績	（「有」の場合） 検討のきっかけや検討内容 （メリット・デメリットなど）	（２）その他、今後の方向性や課題
北名古屋市	無		特になし
弥　富　市	無		–
みよし市	有	公用車、バスの運行（管理含む）も合わせて業務委託を実施している	実施済み
あ　ま　市	無		特にありません。
長久手市	無		本市では、公用車の保有台数も多くないので点検・車検・修繕等を修理工場等に発注している。 そのため今後も継続して職員で管理（点検・車検・修繕等の発注）を行っていく。